

令和8年度第2次連隊射撃野営

第6即応機動連隊は、9月26日から30日までの間、然別演習場において令和8年度連隊射撃野営を実施しました。

本部管理中隊狙撃班は、指定射手による狙撃銃射撃を行い、観測手と連携した組射撃及びトレース観測による着弾予想等を演練しました。

第3普通科中隊は、5.56mm機関銃MINIMIによる各個戦闘射撃を行い、各課目ごと決められた時間内に迅速・正確な射撃を演練するとともに連隊戦技PJ（プロジェクトチーム）要員の指導による若年隊員の育成に重点を置いた射撃訓練を実施しました。

各普通科中隊による81mm迫撃砲射撃では、射撃指揮班・前進観測班及び分隊の3者が緊密に連携し、正確・迅速な射撃を行いました。

併せて行われたUAV飛行訓練では、連隊基幹要員による基本操縦に加え、同時複数機による運用や収集情報の統合管制要領の検証を行いました。

第6即応機動連隊は、今回の成果を教訓として日々の訓練へ反映させ、今後もさらに強靱な部隊へ進化を続けていきます。



狙撃銃射撃



機関銃射撃



迫撃砲射撃

駐屯地サイト及びSNSをチェックして最新情報をゲット！



令和8年度機動戦闘車射撃訓練

第6即応機動連隊機動戦闘車中隊は、9月14日から15日までの間、美幌訓練場において、令和8年度機動戦闘車射撃訓練を実施しました。

秋晴れの晴天の下、7.62mm狭さく弾を使用した昼夜間の練成射撃及び射撃検定を実施し、各乗員は車長の指導の下、迅速性・正確性を追求して協同連携し、モニターに目標が映し出されると次々と弾を命中させ、目頃の訓練成果を遺憾なく発揮しました。

機動戦闘車中隊は、今回の訓練成果を目々の訓練に反映させ、今後もさらに強靱な部隊へ進化を続けていきます。



中隊長による射撃前教育



縮射射撃

訓子府高等学校 1日防災学校

第6即応機動連隊第1普通科中隊は、9月15日、北海道訓子府高等学校の授業の一環である1日防災学校を支援しました。

防災に関する知識及び技能の普及、自衛隊と地域の連携強化のため、今後も継続して支援していきます。



護身術を展示



徒手による患者搬送



担架による装甲車への患者収容

令和8年度駐屯地殉職隊員追悼式

美幌駐屯地は、9月26日、同駐屯地慰霊碑において令和8年度駐屯地殉職隊員追悼式を実施し、殉職された12柱の御霊に対し、追悼の誠を捧げました。



駐屯地司令による献花



追悼の辞を捧げる駐屯地司令



弔銃

オホーツク網走マラソン2026支援

第6即応機動連隊は、9月27日、オホーツク網走マラソン2026において大会本部及び競技運営を支援するとともに、駐屯地から多くの隊員が大会に選手として参加し、日頃鍛えた健脚を披露しました。



大会本部支援



多くの隊員が参加



連隊長も参加

曹友会取材受け

美幌駐屯地曹友会は、9月16日から18日の間、曹友刊行事務局が会員に向けて発行する「SOYOU」の取材を受けました。



誌面で使用する写真を撮影



史料館「北辰館」を説明



名所である美幌峠を案内

令和8年9月新配置隊員紹介



本管中
谷澤璃央



本管中
落合駿翔



本管中
杉本幸翼



本管中
三段崎瑚白



1 普中
木村界斗



1 普中
落合あんな



1 普中
桜井颯峯



2 普中
櫻井祐太



2 普中
青木雄馬



3 普中
木明詩臣



3 普中
松下 蓮



3 普中
鈴木大貴



2 普中
藤田大雅



2 普中
中武鉄生



3 普中
櫛山柊哉



機戦中
山谷快勢



機戦中
下鳥空雅



火支中
西島快翔



11 月退官者紹介
6 即機本管中
1 等陸曹 松田貴行



秋の交通安全
運動に参加
美幌駐屯地は、9
月18日及び28日、
北見バス美幌営業所
前及び駐屯地前にお
いて秋の交通安全期
間の啓発活動であ
る「旗の波運動」に
参加しました。